

東大生協のご案内

東京大学消費生活協同組合(東大生協)とは

東大生協は、東京大学の学生・院生・教職員の方々から出資金を募り、組合員が東京大学でより充実した大学生活を送ることができるよう設立された福利厚生組織です。この冊子で紹介しているキャンパス内の施設は、皆さんの出資金をもとに運営されています。

東大生協の組合員になると、ただ店舗を利用できるだけでなく様々なメリットがあります。例えば、書籍部や食堂部を定価の10%引きで利用できます。また、学生総合共済への加入ができます。

東大生協への加入

大学生協のある他大学から東京大学の学部や大学院へ進学される場合、現在ご加入の大学生協で脱退(出資金返還)手続きを行い、改めて東大生協へご加入ください。

東大生協への加入は以下のWEBサイトでできます。具体的な生協加入の方法については、WEBサイトをご覧ください。WEBサイトの利用登録を行った後、画面の流れに沿って必要な情報を入力するだけで手続きができます。加入の際は出資金24,000円が必要ですが、この出資金は修了時に返還されます。

大学院生向け 東大生協加入WEBサイト

<https://www.utcoop.or.jp/newcomers/graduateschool/>

なお、東京大学にそのまま在籍するが、所属等が変更になる方(東京大学の学部からそのまま大学院へ進学される方など)は、以下のWEBサイトから組合員情報の更新をお願いいたします。

<https://www.utcoop.or.jp/procedures/>

生協加入についてのお問い合わせ

組合員センター(本郷キャンパス二食建物2階)

組合員センター営業時間:平日11:00-17:00 お問い合わせ:03-3814-1542

大学生協アプリ・電子マネー

「大学生協アプリ」上で生協の組合員証の表示、各店舗で使える電子マネーがご利用いただけます。東大生協では、「学食マネー」を導入しています。「学食マネー」は、食堂・購買の食品飲料の決済に用いることができ、決済額200円につき1ポイントが還元されます。

以下のWEBサイトで「大学生協アプリ」「学食マネー」の詳細をご案内しています。

https://www.utcoop.or.jp/coop-app_e-money/

共済・保険

学部生・院生組合員を対象に、学生の生活実態に合わせた共済・保険をご案内しています。

・学生総合共済

学生本人のケガや病気を24時間365日、学内・学外・国内・海外を問わず保障します。

・学生賠償責任保険(一人暮らし特約なし)・学生賠償責任保険(一人暮らし特約あり)

他人の身体や他人の財物などに対する賠償責任事故を保障します。「一人暮らし特約あり」では、他人への賠償責任事故の保障に加え家財損害の保障や借家人賠償責任保障などがあります。

以下のWEBサイトで「共済・保険」の詳細をご案内しています。

<https://www.utcoop.or.jp/service/join/>

12

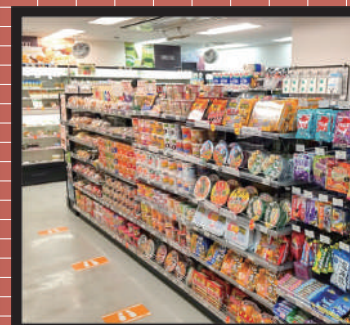
本郷キャンパス豆知識⑨ 中央食堂にはハラル対応のケバブのほか、ヴィーガンメニューも販売している。



Coop Map Hongo 2023

本郷キャンパス生協店舗案内

東京大学生協学生委員会



・はじめに

皆さんこんにちは。私たちは東大生協の学生委員会です。この冊子は、主に新3年生や新しく大学院から東大に来られた方に、生協の活用方法を知っていただくために作られた冊子です。様々な学部、学年の学生の「リアル」な生協の声をお届けできたらうれしいです。また、それ以外の方にも生協を「再発見」してもらおう契機になると思います。

3ページから9ページまでは、各学部・研究科の学生による、生協店舗の活用法を収録しています。ぜひ、これからのキャンパスライフに役立ててみてください。

・目次

| | |
|----------------------|----|
| 経済学部 Kさん..... | 3 |
| 理学部 Wさん..... | 4 |
| 法学部 Bさん..... | 5 |
| 農学部 Yさん..... | 6 |
| 情報理工学系研究科 Dさん..... | 7 |
| 工学系研究科 Sさん..... | 8 |
| 理学系研究科 Sさん..... | 9 |
| CO-OP MAP HONGO..... | 10 |
| 生協案内..... | 12 |

・学生委員紹介

この冊子を作成した東大生協本郷学生委員会は東大生協と東大生の「架け橋」となることを目的とした東大生協の学生委員会です。駒場キャンパスにある駒場学生委員会(C学)とも協力して活動をしており、現在委員を大募集中です。興味のある方はメールアドレスc-gaku@mail.utcoop.or.jpまで連絡をお願いします！

Coop Map Hongo 2023

編集 東大生協本郷学生委員会
発行 東京大学消費生活協同組合(HP:<https://www.utcoop.or.jp/>)
印刷 株式会社プリントパック

2

本郷キャンパス豆知識①

本郷キャンパス構内に自転車・バイクを通勤のために駐輪する場合は有料となり、シールの販売を第二購買部・農学部店で行っている。

本郷キャンパス~経済学部 Kさんの場合~

経済学部の授業は大半が経済学研究科棟、国際学術総合研究棟で行われます。いずれもキャンパスの端に立地しており、大学構外へのアクセスは良好ですが、一方で総合図書館や生協各店舗(特に書籍部や第二食堂!)まで行くには少し歩かなければいけません。昼食時には経済学研究科棟の裏手にキッチンカーも来るので、経済学部生の食事は生協の食堂、キッチンカー、構外の食事処のおおよそ3つに分かれます。今回は、他の2つと比較して生協の食堂がどんな人、どんな時におすすめかを紹介したいと思います！

生協の食堂の第一の推しポイントは、値段がお手ごろなことです！特に、中央食堂の名物メニューである赤門ラーメンはもやしがつぶ入りあんのかけラーメンで、おいしいうえにとっても腹持ちがよく、自分のようにたくさんご飯を食べたい、すぐにお腹が空いてしまう人にはおすすめです。第二のポイントは、回転が非常に速いこと。中央食堂は昼食時には長蛇の列ができており、初めて見ると圧倒されてしまうかもしれませんが、とにかく回転が速いので、実は他のところで食べるよりも早く食べられる……なんてことがよくあります。自分は2限と3限を取っている時も昼食は中央食堂で食べていたので、「外まで食べに行く時間がない!」というときは食堂も1つの手です。(逆に言うと昼食時はのんびり長居するのには向かないので、長居をしたい方は構外の食事処を利用するのがいいかもしれませんね。)

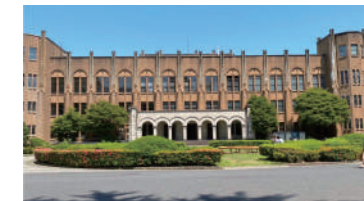
皆さんそれぞれのライフスタイルにあった生協の使い方を見つけてみてくださいね！

【中央食堂ってどこ?】

中央食堂は安田講堂付近の地下にあります。出入口は複数箇所あるので探索してみると面白いかも!?



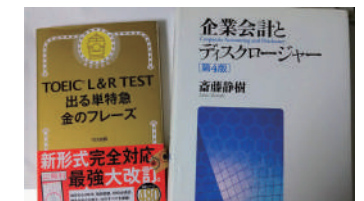
▲出入口の一つ



▲医2号館前にはベンチがあるので、晴れの日には外でお弁当も！



▲第二購買部では駒場でお馴染みのお弁当も買えます。



▲書籍部で購入したTOEIC・院試対策本。種類が豊富です！

本郷キャンパス豆知識②

中央食堂内にはブリオッシュ・ドーレ(ベーカリーカフェ)とE PRONTO(喫茶店)がある。

3

本郷キャンパス~理学部 Wさんの場合~

私は理学部の地球惑星物理学科(以降、「地物」と呼ぶ)という学科に所属しています。地物生は基本的に理学部1号館に滞在しており、1号館の中で講義を受けたり、あるいは7階にある学科控室でのんびりしたりします。

私の場合、そのような生活を送る中で、生協店舗の中では中央食堂・第二購買部・本郷書籍部を頻繁に利用します。どの店舗も理学部1号館から近いことが特長です。

本郷キャンパス内で昼食を取る際はほぼ毎回中央食堂を利用しています。中央食堂のメニューの中では特に「赤門拉麺」が好きです。赤門拉麺以外では、鮭丼も頻繁に食べています。鮭丼が常備されているというのは、海鮮モノが好きな私にとっては非常にありがたいことです。「午後1時そなえて昼食をとっておきたいがあまりお腹は減っていない」というような場合は、第二購買部でおにぎり等を購入して昼食を済ませます。

私は本が好きなので本郷書籍部も頻繁に利用します。本郷書籍部は街中の書店と比べて学術書の品揃えが豊富であるのが特徴で、非常に重宝しています。私は地球惑星科学関連の本が置かれているエリアに立ち寄ることが多いです。もちろん、現在話題になっている本なども幅広く取り揃えられています。

上記の情報が読者の皆様、特に地球惑星物理学科や地球惑星科学専攻に所属している方々の参考になれば幸いです。



▲中央食堂の鮭丼。



▲中央食堂横の第二購買部。



▲書籍部の様子。

【書籍部ってどこ?】
書籍部は第二食堂の1階にあります。圧巻の品ぞろえで、さすが東大という感じがします。



▲第二食堂と同じ建物内にあります。



本郷キャンパス~法学部 Bさんの場合~

法学部の殆どの講義は、法文1号館で行われます。法文1号館は、国の登録有形文化財に指定されているそうです。

法学部生は、六法、教科書、基本書、判例集など、様々な書籍が学習において必要となります。そのため、書籍部は法学部生にとって欠かせない生協店舗と言えるでしょう。生協組合員は、定価の1割引きで書籍を購入することができます。購入数の多い法学部生は、書籍部のおかげでずいぶん得をしているはずです。

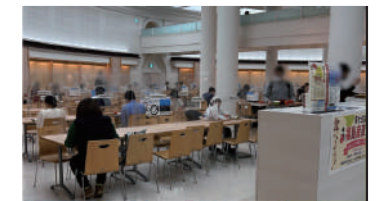
法文1号館の近くには、中央食堂と第二購買部があります。昼休みには中央食堂は混みあうので、ピークタイムをずらし、空きコマを利用して利用することが多いです。また、第二購買部でおにぎりやパンを購入して昼食を済ませることもあります。

食堂や購買以外では、第二購買部に併設されているトラベルセンターを利用することが多いです。旅行の時にはJRの学割切符が強い味方になりますが、この学割切符をトラベルセンターで購入することができます。駅のみどりの窓口だと混雑していて長時間並ばされることがありますが、トラベルセンターでは並ぶことはあまりありません。また、特殊な経路の切符でも丁寧に確認して発券してもらえて心強いです。

「砂漠」などと揶揄されることも多く、確かに他学部と比べると人的関係は希薄になりますが法学部生の大学生活は、このように生協に支えられています。



▲法文1号館に歴史あり。



▲平日15時ごろの中央食堂。比較的空いています。

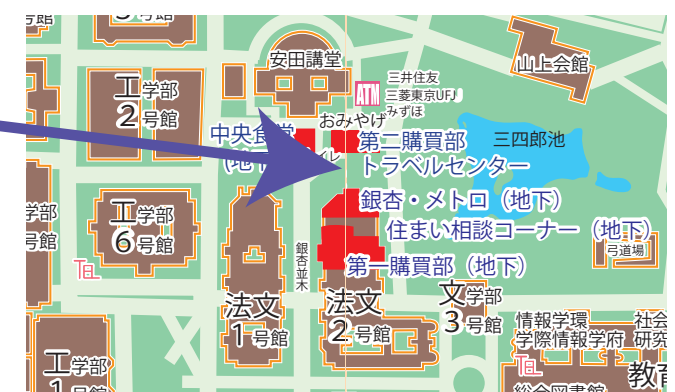


▲全て、書籍部で購入した法律関係の書籍です(これでも一部)。

【トラベルセンターってどこ?】
トラベルセンターは第二購買部に併設されています。



▲分かりやすいカウンター。



弥生キャンパス~農学部 Yさんの場合~

東大農学部といえば……弥生キャンパスですね！ 農学部の学生は、基本的に弥生キャンパスで講義を受講する関係で、学生生活は主に弥生キャンパス内がメインフィールドになります。その学生生活を支えている生協店舗ですが、3号館地下に食堂、購買、書籍が固まって存在しています。それでは、具体的な利用法を一緒に見ていきましょう！

平日は基本的に毎日食堂を利用しています。休み時間が短いため、弥生キャンパス内で気軽に食事をとれるので重宝しています。確かに品ぞろえ自体は中央食堂に劣るかもしれませんが、日替わりメニューがあるため、毎日違ったものを楽しめます。また、農学部食堂限定の「鈴木梅太郎丼」(黒米を使用した豚丼で、梅干しがついておりさっぱりとした味わい。ビタミンB1を発見した鈴木梅太郎先生の名前にちなんだメニュー)もあるので、ぜひ一度本郷生にも食べに来てほしいです！！

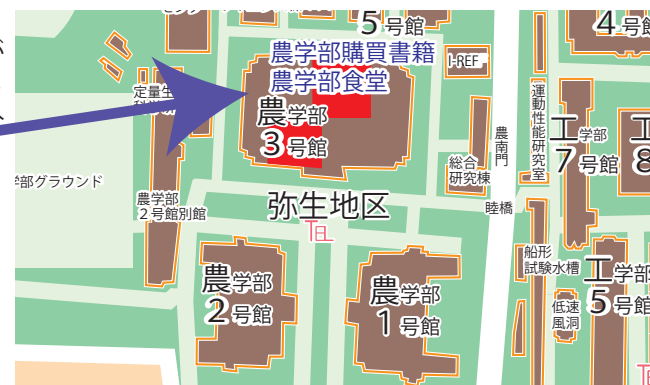
一方で、食事の時間があまりとれないときは、購買で軽食を買って済ませるということがあります。天気の良い日は外で食べることもできますし、食堂内で食べることもできます。食品と飲料には学食マネーが使用できるので結構便利です。書籍は必修の授業で指定の教科書を買うときにお世話になりました。

他にも、農学部生協と学生のつながりとしては「農学部運営委員会」が挙げられます。運営委員会は弥生キャンパスの生協の運営について話し合う場で、食堂の新メニューの企画なども行っています。組合員ならだれでも参加でき、現在絶賛メンバーを募集中です。店舗に貼り紙を貼ってあるので、興味がある方はぜひご覧ください！

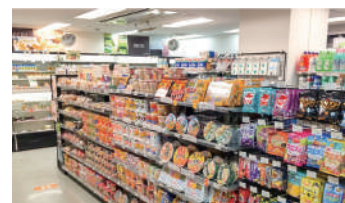
【農学部生協ってどこ？】
農学部生協は食堂・書籍・購買がまとまって3号館地下にあります。3号館の中からでも外からでも入れます。



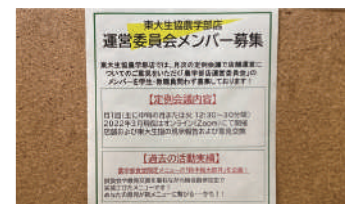
▲外側の階段を使う場合は狭いので譲り合ひましょう。



▲農学部限定の鈴木梅太郎丼(大)。



▲購買部の店内の様子。



▲運営委員会メンバー募集の貼り紙

本郷キャンパス~情報理工学系研究科 Dさんの場合~

私は工学部2号館(ページ下部の地図の左上)の研究室に所属しています。よく利用する食堂は近くの中央食堂ですが、時間に余裕があれば銀杏メトロ食堂を利用しています。ここでの私のおすすめは、注文後に目の前で卵とじをもらえる親子丼です。湯気とともに立ち上るほのかな香りが食欲をそそります。大学生協アプリの学食マネーで支払うと、組合員価格(10%割引)が適用されるだけでなくポイントがついてお得なので、私はいつもこれで支払っています。

銀杏メトロ食堂の向かいにある第一購買部は、研究費(校費)で物品を購入するときに頼りになります。請求書払いに対応しているので、自費で立替をする必要がなく、大変便利です。店頭在庫をその場で購入できるほか、ツクモ電機などのBTOパソコンの注文もできるので、事務手続きの関係上すぐにパソコンを買う必要があるときにも、自分好みのパソコンを購入したいときにも助かりました。

最後に本郷書籍部を紹介します。ここでは校費での購入か東大生協の組合員証の提示で、書籍の価格が10%割引となります。書籍であれば、専門書に限らず、新書や文庫、果てはライトノベルや手帳までもが10%割引になるのです！ そんなわけで、私は校費で研究用の書籍を購入する際だけでなく、私費で趣味の本を購入する際にも利用しています。在庫がない本は書籍在庫検索・注文システム(<https://bookzaikonavi.jp/tokyo/>)から取り寄せられるので、うまく活用すれば公私ともに充実した読書生活が送れるでしょう。



▲銀杏メトロ食堂の親子丼。



▲第一購買部の外観。



▲書籍在庫検索・注文システム。

【銀杏メトロ食堂ってどこ？】
法文2号館の地下です。「銀杏・メトロ食堂」の表示(写真枠内)がある入口から入ってください。



▲三郎池側の入口。



本郷キャンパス~工学系研究科 Sさんの場合~

大学院工学系研究科に在籍しています。研究室生活となり座学が無くなったため、混雑を避けるために12時前か13時以降に学食に行っています。中央食堂では積極的にカフェテリアで定食を頼んでいます。週替わりのおかずやごはんに加えて、豚汁やオクラのおひたしを選択するのがルーチンになっています。また、辛党なのでトッピングのラー油をよく使います。個人的にはしょうが焼きに少しラー油をかけると醤油味と辛さが混ざって美味しいです。トッピングの調味料がたくさん用意されているので、日替わりでオリジナルのアレンジを加えるのも良いかもしれません。

中央食堂隣の第二購買部では、研究室での作業のお供となる飲み物や軽食を購入しています。また、一緒に販売されている東大グッズも親戚へのお土産に最適です。特に『大学チョコサンドクッキー』は保存がしやすく価格もリーズナブルなおすすめです。

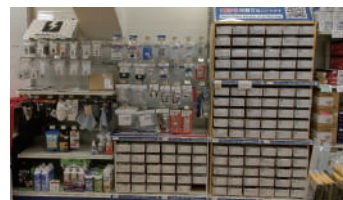
第一購買部といえば文房具が売られているという印象が強いですが、それだけでなく電子部品も販売されています。私は電気電子工学科を経て現在の専攻に在籍していますが、研究で時々必要となるだけでなく、学部時代は授業の演習で必要となることもありました。電子部品といえばすぐそばの秋葉原が有名ですが、人気のある部品は売り切れてしまっている場合があります。第一購買部には秋葉原ほど電子部品目当てで来る人がいないため、秋葉原で品薄となっている商品が見つかるかもしれませんよ!?



▲ある日の定食。組価・税込で550円。リーズナブルです。



▲赤門のイラストがかわいい。



▲主要な部品が揃っています。

【第一購買部ってどこ?】
第一購買部は法文2号館地下一階にあります。銀杏並木側から入ると古風な看板があります。



▲入口。向かいにはメトロ食堂があります。



本郷キャンパス~理学系研究科 Sさんの場合~

理学部・理学系研究科の一部の学科・専攻では理学部1号館(または隣の4号館)で過ごすことがよくあります。実は、ここは昼食ときにはとても便利な場所です。なぜなら、理学部1号館からは、中央食堂、第二食堂、第二購買部のいずれへも簡単に行くことができるからです。

中でも私は第二食堂を気に入っています。理由はシンプルで、中央食堂ほど並ばないからです。中央食堂には他に無い魅力的なメニューがありますが、その分混雑します。定番のメニューやフェアメニューを味わうには、第二食堂の方が向いているかもしれません。

また、第二食堂には中央食堂とは異なる独自のメニューもあり、いつものメニューに飽きてきたな、というときの気分転換にもなります。本郷食堂のTwitterアカウント@hongo_coopdでメニューを公開しているので、チェックしてみてください。

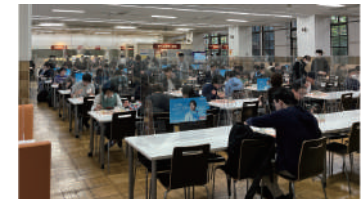
もし読者の皆さんが第二食堂をご存じでないなら、ぜひ一度足を伸ばしてみることをお勧めします。

ちなみに、喉が渇いたときや、頭を使って甘いものが食べなくなったときには、私は第二購買部をよく利用します。最近のマイブームは、牛乳プリンと東大の研究室が開発したヨーグルト。こうした東大独自の商品が買えるのも生協購買部ならではのですね。

学食マネーは購買部の食品にも使うことができるので、こうしたちょっとした買い物をするときには、スマホだけ持って学食マネーで買い物します。



▲理学部1号館。



▲昼食時間帯の第二食堂。



▲東大でしか買えない商品も。

【第二食堂ってどこ?】
第二食堂のある場所は理学部1号館の裏、写真のロータリーが目印です。中に入って2階に食堂への入り口があります。



▲第二食堂のある建物の外観。



2023年1月1日現在

2023年1月1日現在

